

＜調査結果報告＞

三重県内企業の 8 割が賃上げ、賃上げ率は 7 月時点で過去最高の 3.67%

三重県内の事業所を対象に、賃金改定の状況等について調査しましたので結果を報告します。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

【担当】株式会社百五総合研究所 地域共創事業部 谷ノ上（たにのうえ）

三重県津市岩田 21 番 27 号 TEL059-228-9105

【調査概要】

- 調査期間：2025 年 7 月上旬～7 月下旬
- 調査対象・回答数：三重県内の事業所（以下、企業）、474 先
「大・中堅企業」12.4%、「中小企業」87.6%。
※「大・中堅企業」は資本金 1 億円以上。「中小企業」は資本金 1 億円未満＋個人事業。

【調査結果】

◆25 年 4 月以降に賃上げした企業は約 8 割、賃上げ率は 3.67%に上昇。

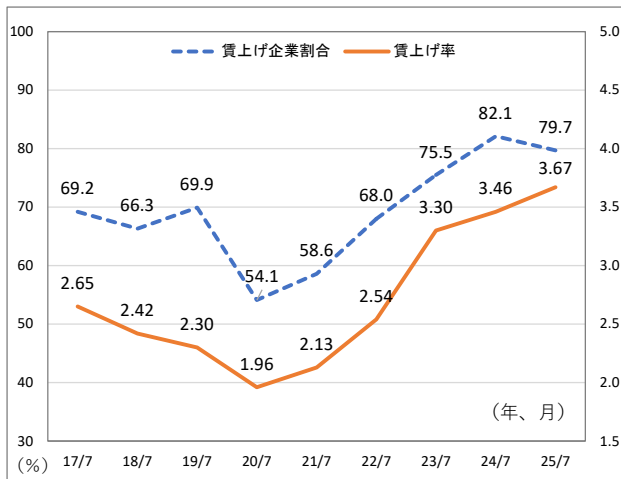
25 年 4 月以降に賞与等を含む賃金を「引き上げた」と回答した三重県内企業は 79.7%と約 8 割を占め、賃上げ率は回答平均で 3.67%となった。7 月時点における賃上げ率は、24 年の 3.46%をさらに上回り、2017 年の調査開始以来の過去最高を更新した。なお、各年 1 月時点で調査している当年度の賃上げ率でみると、2024 年度は 3.60%だった。

賃金引き上げの内容をみると、全従業員の基本給の水準を一律に引き上げる「ベースアップ」が 50.4%と半数超に上った。賃上げの背景には、依然続く物価上昇と人手不足に伴う人材獲得競争がある。人材の採用が困難な中、従業員の離職防止とモチベーションアップのため賃上げを行う企業が多い。

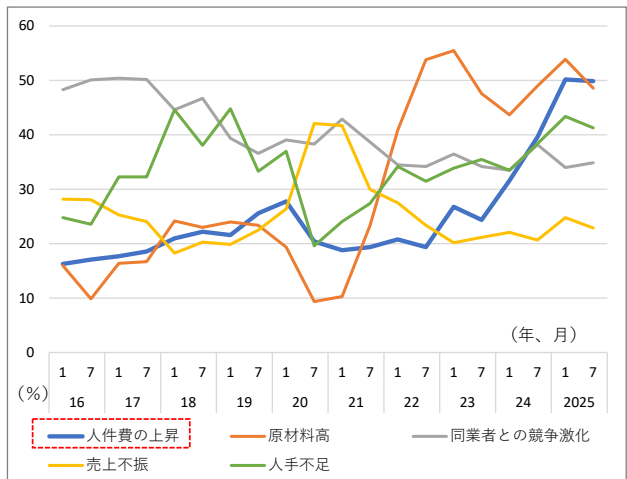
◆経営上の問題として、「人件費の上昇」が約半数を占め 1 位に。

調査では、経営上の問題についてもたずねており、右図はその設問の選択肢の中から主な項目を抜粋したものである。「人件費の上昇」を挙げる企業は、24 年以降急激に増加しており、25 年 7 月時点では 49.9%と約半数を占め、6 半期連続で 1 位だった「原材料高」を抜き、経営の最大の重荷となっている。

■賃上げ企業の割合・賃上げ率（7 月時点）



■経営上の問題（複数回答）



以上